

モニタリング結果報告書（平成25年度上半期）

施設	音楽堂
指定管理者	公益財団法人神奈川芸術文化財団
指定期間	H23. 4. 1 ～ H28. 3. 31
施設所管課	文化課 ( )

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

**B**

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。  
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。  
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。  
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。  
（Dが2つ以上の場合）

<p>&lt; 1 管理運営等の状況 &gt; 優れた音楽に触れる文化芸術の鑑賞普及活動として「ユジャワソピアノリサイタル」を実施したほか、第7回目となる「クラシックな休日を♪in音楽堂」など、世界レベルの質の高い音楽の提供を行った。また、「マエストロ聖響の夏休みオーケストラ！」では、当日公演のほかに、山北小学校へのアウトリーチ活動や指揮者体験ワークショップを行うなど、大人から子供まで幅広く文化芸術の鑑賞機会を提供しているためB評価とした。</p> <p>&lt; 2 収支状況 &gt; 収支状況については、概ね計画通り執行されており、B評価となった。</p> <p>&lt; 3 利用状況 &gt; ホームページ、新聞やラジオなど、メディアを活用した広報を積極的に実施しており、5月、6月など前年を下回る月はあったが、全体として目標は達成しているため、B評価となった。</p> <p>&lt; 4 利用者の満足度 &gt; 利用者満足度調査は下半期に実施する予定となっている。</p> <p>&lt; 5 苦情・要望等 &gt; 施設の座席同士の間隔が狭いことや、エレベーター・エスカレーターの設置を希望する声が寄せられた。これに対して、建物構造上根本的な対処は困難だが、座席の座面を更新し座り心地の改善を図るほか、職員による丁寧な案内により少しでも快適に過ごしていただく工夫に取り組んでいるため、B評価とした。</p> <p>&lt; 6 事故・不祥事等 &gt; 来館者がホール内の段差で転倒し怪我をする事故が発生したが、迅速に救急車を呼び対処したことや、再発防止に向けて来館者に注意を促すなど、適切に対応されておりB評価とした。</p> <p>&lt; 今後の方針等 &gt; 事業面では音響の良さや建築史的価値を活用した音楽鑑賞機会を提供するほか、今後も青少年向けのアウトリーチ活動の充実に努められたい。また、開館から60年が経過し設備の老朽化が課題となっている中で、引き続き利用者にとって安全快適なホールであるよう適切な管理運営に努められたい。</p>
---

1 管理運営等の状況

評価 **B**

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1  (指定管理業務)	施設維持：開館日・時間についての柔軟な対応	・休館日の臨時開館を3日間、午前9時以前の利用を27日間、午後9時以降の利用を14日間行う等、利便性に配慮した柔軟な対応を行った。

	提案内容	実施状況等
2  (指定管理業務)	施設維持：歴史ある音楽ホールを活用しつつ継承する施設管理の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種定期保守点検を的確に実施。</li> <li>・県有建築物等定期点検結果による指摘を受け「外壁補修工事」を実施し、また部外者が敷地内に容易に入ってこられないようセキュリティ強化を目的とした「プロテクト倉庫付近門扉補修工事」等を実施するなど、施設設備の長寿命化、機能強化を図った。</li> <li>・その他、トイレ詰まりなど細かな施設設備の不調、不具合についても速やかに対応し、利用者・来館者に快適な空間を提供できるよう職員一同対応した。</li> </ul>
3  (指定管理業務)	事業：木のホールの音響と空間を活かした音楽芸術活動及び鑑賞機会の提供	<p>【4月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新鮮な解釈と優雅さ、卓越したテクニックで世界を魅了する「ユジャ・ワン ピアノ・リサイタル」入場者数690人。</li> <li>・共催公演「神奈川フィルハーモニー管弦楽団／武満徹と古典派の名曲 第1回」入場者数504人、「第36回全日本おかあさんコーラス神奈川県大会」入場者数延850人、「第29回かながわ音楽コンクールユースピアノ部門」入場者数延べ400人、「ヴァイオリン部門本選」入場者数延べ500人。</li> </ul> <p>【5月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オーケストラ音楽の魅力と楽しさを紹介する独自のプログラム「クラシックな休日をin音楽堂」。出演：藤岡幸夫（指揮）、山下洋輔、佐藤浩一（ピアノ）、米澤一平（タップダンス）、東京フィルハーモニー管弦楽団。入場者数571人。</li> </ul> <p>【6月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共催公演「神奈川フィルハーモニー管弦楽団／武満徹と古典派の名曲 第2回」入場者数400人、「第56回神奈川県合唱祭」入場者数延べ2,300人、「ダンスカナガワフェスティバル」入場者数700人。</li> </ul> <p>【7月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共催公演「神奈川フィルハーモニー管弦楽団／武満徹と古典派の名曲 第3回」入場者数689人。</li> </ul> <p>【8月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オーケストラ公演と様々な関連企画によって子ども・青少年への音楽体験を提供する「マエストロ聖響の夏休みオーケストラ！」入場者数819人。</li> <li>・共催公演「第80回NHK全国学校音楽コンクール神奈川県コンクール」参加人数延べ約5,000人、「第56回神奈川県合唱コンクール（中学・高校部門）」参加人数延べ1,100人。</li> </ul> <p>【9月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽堂マチネーコンサート「幸田浩子ソプラノ・リサイタル」出演：幸田浩子（ソプラノ）、寺嶋陸也（ピアノ）。入場者数641人。</li> <li>・共催公演「第23回神奈川オペラフェスティバル第1夜オペラ・ガラコンサート オペラで巡る世界の旅 Vol.3」入場者数521人、「第56回神奈川県合唱コンクール（大学職場一般部門）」入場者数延べ500人、「読売日本交響楽団特別演奏会音楽堂で聴くブラームス」入場者数634人。</li> </ul> <p>*公演の制作過程や当日の様子などをホームページブログ「音楽堂ほぼ毎日日記」で情報提供。NHK横浜放送局FM番組等にプロデューサーが出演するなどして、県民への広報にも努め、多くの方に鑑賞頂いた。</p>

提案内容		実施状況等
4  (指定管理業務)	事業：子ども・青少年へ音楽体験を提供する企画を積極的に実施	<p>【5月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「クラシックな休日をin音楽堂」のチケット購入者を対象にリハーサルを公開。県立湘南高校吹奏楽部員も鑑賞。入場者数36人。</li> </ul> <p>【6月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「マエストロ聖響の夏休みオーケストラ！」の関連アウトリーチとして、「オーケストラがやってきた！in山北町」を実施。出演：金聖響（指揮）、神奈川フィルハーモニー管弦楽団。6小中学校の児童生徒、教職員、保護者ら計416人が鑑賞。</li> </ul> <p>【8月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「マエストロ聖響の夏休みオーケストラ！」の関連企画として、バックステージツアー&amp;ミニ・コンサート（参加者数224名）、公開リハーサル&amp;指揮者との交流ワークショップ（参加者194人）、公開リハーサル（参加者97人）、ホワイエでの楽器体験コーナー、終演後の出演者との交流会、4日間にわたるジュニア・スタッフ養成講座（参加者数20人）を実施。</li> </ul>
5  (指定管理業務)	事業：外部資金の確保	<p>外部資金の獲得状況</p> <p>1. 法人賛助4,950千円、個人賛助240千円、広告料収入450千円、チケット販売収入150千円 ※平成26年2月7日現在財団全体での実績</p> <p>2. 助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化庁優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業6,602千円</li> <li>芸術文化振興基金（地域文化施設）900千円</li> </ul>

(2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月10日		○	○	○	無	「ユジャ・ワン ピアノリサイタル」をモニタリング。業務は適切に実施されていた。
5月	6月10日		○	○	○	無	「クラシックな休日を♪in音楽堂」をモニタリング。業務は適切に実施されていた。
6月	7月10日		○	○	○	無	「神奈川フィルハーモニー管弦楽団 音楽堂シリーズ2013 “武満徹と古典派の名曲” 第2回」をモニタリング。業務は適切に実施されていた。
7月	8月9日		○	○	○	無	「神奈川フィルハーモニー管弦楽団 音楽堂シリーズ2013 “武満徹と古典派の名曲” 第3回」をモニタリング。業務は適切に実施されていた。
8月	9月10日		○	○	○	無	「マエストロ聖響の夏休みオーケストラ！」をモニタリング。業務は適切に実施されていた。
9月	10月10日		○	○	○	無	「幸田浩子ソプラノリサイタル」をモニタリング。業務は適切に実施されていた。

※基本協定書上の月報等提出期限

翌月の 10 日まで

## 2 収支状況

評価 **B**

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
- B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
- C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
- D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額	うち納付金	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計			
募集時の見積算額 (参考)		177,782	—	—	177,782	—		—
年度計画	前年度	176,175	34,600	38,016	248,791	248,791	0	0
	上半期	85,121	17,603	15,420	118,144	118,144		0
	下半期	91,054	16,997	22,596	130,647	130,647		0
	今年度	176,157	34,900	32,834	243,891	243,891	0	0
	上半期	78,693	15,973	10,872	105,538	105,538		0
	下半期	97,464	18,927	21,962	138,353	138,353		0
上半期実績	4月	9,899	2,396	245	12,540	6,818		5,722
	5月	15,183	2,250	13	17,446	21,707		▲ 4,261
	6月	17,399	1,958	5,080	24,437	18,975		5,462
	7月	10,596	3,785	95	14,476	14,264		212
	8月	14,225	2,376	217	16,818	13,473		3,345
	9月	11,391	3,345	56	14,792	23,053		▲ 8,261
	上半期合計	78,693	16,110	5,706	100,509	98,290	0	2,219
	対収支計画比	0.0%	0.9%	▲ 47.5%	① ▲ 4.8%	② ▲ 6.9%	③	2.1%
参考	前年度 上半期実績合計	85,121	17,601	13,619	116,341	105,978		10,363
	対前年度 上半期実績比				▲ 13.6%	-7.3%		

※その他収入の内容 事業収入、寄付金、受取利息、雑収入等

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	該当なし
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	×	該当なし
③ 収支差額のマイナス（上半期収支計画支出額対比）	×	該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等  
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等： 100万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期		
下半期		
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等  
支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等  
積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

### 3 利用状況

評価 **B**

(評価の目安)

今年度上半期利用者数が、  
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～95%未満
- D : 85%未満

(目標利用者数等を設定していない場合、前年同期対比増減率で)

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～95%未満
- D : 85%未満

(入所施設等定員がある場合、定員比で)

- A : 100%
- B : 90%以上
- C : 80%以上
- D : 80%未満

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	11,586 人	11,505 人	100.7 %
5月	6,101 人	9,406 人	64.9 %
6月	14,260 人	16,460 人	86.6 %
7月	17,759 人	17,857 人	99.5 %
8月	16,048 人	14,995 人	107.0 %
9月	12,067 人	13,184 人	91.5 %
合計	77,821 人	83,407 人	93.3 %

	利用者数	前年同期利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
上半期計	77,821 人	83,407 人	75,550 人	① 103.1 %	② 93.4 %
下半期計	- 人	- 人	- 人	- %	- %
合計	77,821 人	83,407 人	75,550 人	3.1 %	▲ 6.7 %

※目標値の設定の有無

期間	設定している	その他の場合の期間
基準	通年	その他の場合の基準
	指定管理者提案値	

#### 利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)	×	該当なし
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	○	5月のゴールデンウィークの並びが悪く発表会などの貸館利用が減少したことなどから、上半期は前年度と比較して約7%の減となっている。なお、7月以降の入場者数はほぼ前年並の入場者数となっており、年間での入場者数は前年とほぼ同程度を見込んでいる。

#### <参考>

##### 施設の最大利用可能人数

	ホール					合計
定員(1日あたりの延べ人数)	1,054					1,054
年間利用可能日数	296					
最大人数	311,984	0	0	0	0	311,984
半期	155,992	0	0	0	0	155,992

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

#### 4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 —

（評価の目安）

「満足」（4段階評価及び5段階評価の場合、上位2段階）と答えた割合が

- A：80%以上
- B：60%以上～80%未満
- C：40%以上～60%未満
- D：40%未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50%以上
- ：今期は実施していない

	とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い	合計	上位2段階の割合
総合満足度の回答結果	—	—	—	—	—	0	0 ( )

※今年度の実施予定

上半期 0 回 下半期 1 回 その他

※配布・回収件数

配布      件 回収      件 回収率      %

※実施方法

リストから選択 リストから選択 リストから選択 リストから選択

#### 5 苦情・要望等

評価 B

（評価の目安）

- A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。
- B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。
- C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。
- D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

#### 報告件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数	4	0	1	0	116	121
下段：報告件数のうち所管課受付分	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )

#### 苦情・要望等への対応

該当あり

分野	概要	対応状況
施設・設備	席が狭い。(12件)	建物構造上、改修が難しいため、段階的に座面を更新し、座席自体の座り心地改善を図っている。
	エレベータ・エスカレータを設置してほしい。(5件)	建物構造上、設置が難しいため、お客様の負担が最小限になるように案内を工夫するなど、職員が丁寧に対応することでカバーしている。
職員対応		
事業内容	神奈川県障害者地域作業所連絡協議会（障作連）のお菓子などの販売がよかった(9件)	主催事業においては、引き続き「障作連」による販売を実施する。
その他		

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

## 6 事故・不祥事等

評価 **B**

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した(事故等が発生していない場合も含む)。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

### 発生状況及び対応状況

**該当あり**

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等
8月25日	77歳女性がホール客席内2階通路付近で転倒し右肩を強打した。	ホール客席内にて2階の通路に向かって階段を降りる際、構造上、直前の踏面寸法が若干短いため、足元を見ないで階段を下りてしまうと、つまづく可能性がある。	右肩の痛みが増してきていたため救急車を要請し病院へ搬送。その後、治療のため通院。 既に客席内階段のスリップ防止部分の色を目立たせるなど転倒防止策を講じているが、特に高齢の来館者には安全に十分に留意するよう呼びかけ、注意を促す。

### 随時モニタリングの実施状況

**該当なし**

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
( )		
( )		
( )		